胡桃のモチーフ考察[原神]

40

Hanaのnote
2023年11月22日 22:54
フォロー

今回は胡桃のモチーフ考察を行いました。胡桃は鍾離と道教の影響を強く受けたキャラです。

実は日本語版で消されていますが、
胡桃の命の星座はかなり詩的な表現をされています。

目次

名前
道教の影響
易経
衣装
命の星座
余談・胡桃の歌

名前

胡桃は胡が姓、桃が名前です。
つまり、胡桃という名前ではなく、
胡家の桃さんってことです。

しかし二字合わせて胡桃（くるみ）を意味するのは中国でも同じなので、クルミを連想して欲しくてこの名前をつけたのだと思います。

胡桃のPVより
〈ほら、蝶々って胡蝶とも言うでしょう？私と不思議な縁があるの。〉

中国でも蝶々を胡蝶と呼ぶことがあり、胡桃の『胡』はここからつけられたようです。胡蝶は中国において、生死を連想させる存在でもあります。

中国版PVではもっと直接的に名前の由来が胡蝶（蝴蝶）であると言及しています。

〈为什么「引路人」是蝴蝶？你看，蝴蝶也姓胡，胡桃也姓胡〉

（和訳）何故（死後の世界の）案内人は胡蝶なのかって？ほら、蝶の姓は胡、胡桃の姓も胡でしょう？

また、胡桃の命の星座はPapilio Charonti（英語版）となっています。

Papilioはアゲハ蝶、
Charontiはギリシャ神話において死者を冥界に運ぶ渡し守カロンを意味します。

冥界に運ぶ蝶という意味の命の星座なんですね。

桃は中国において桃源郷のようなユートピアや、不死の木、神聖な木を意味します。
中国の方なら神聖な木と聞いて真っ先に桃を思い出すのではないでしょうか。

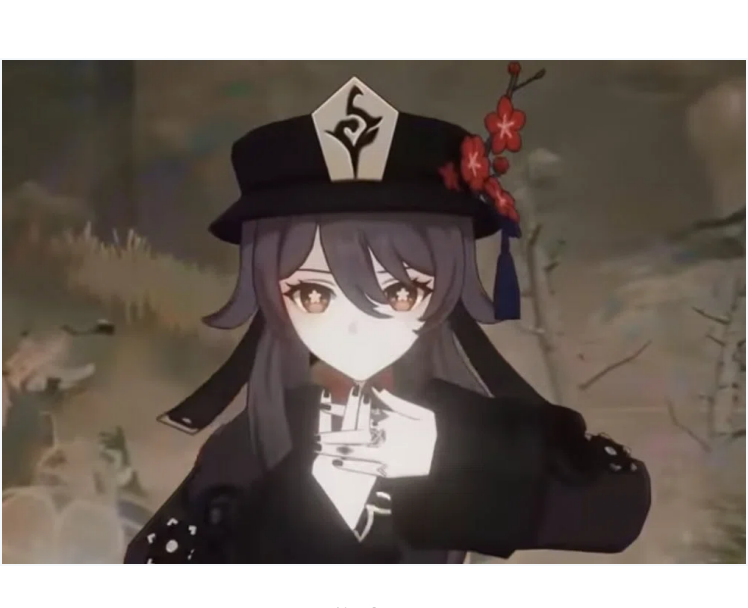
ちなみに2字合わせた「胡桃」は、「桃」という字が入っていることもあり、桃の木と同じく魔除けの効果があると考えられていました。

中国の諺に、「クルミを手に持っていれば、乾隆帝よりも長い89歳まで生きられる。地獄の王（閻魔）も地獄に呼ぶことが出来ないできない。」

と言われており、死だけではなく生を意味する名前でもあります。

道教の影響

胡桃はPVで道教の『往生印』を結んでいます。
悪霊を遠ざけ、安全に転生することを表す印です。



往生印

胡桃はかなり中国の道教と縁深いキャラです。

誕生日は7月15日。この日を中元と呼びます。この中元という呼び方は道教から来ています。

7月15日の中元は善悪を判別し、罪を赦す地獄の神による贖罪の日とされています。
この日に火を焚いて、自分が犯した罪を懺悔します。

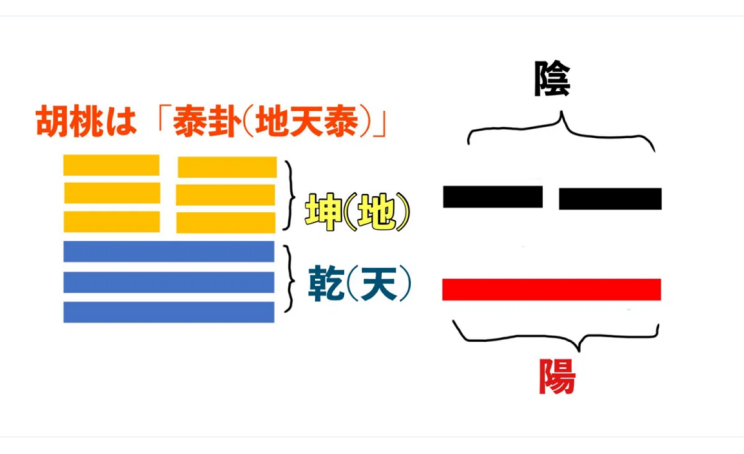
また、胡桃の帽子の前方中央には令牌(札のように見えるもの)がついています。この令牌は道教の儀式で使う道具です。

易経

また、胡桃が被る帽子は、乾坤泰卦帽 （けんこんたいかぼう）といい、儒教の経典でもある易経の影響を受けた名前をつけられています。

易経は結構難しく、私も上手く言い表せないのですが、
森羅万象のあり方（陰陽）を印で示します。

乾は天、坤は地。
泰卦は地天泰（天地の万事が安泰となっている状態）を表すとされています。
→つまり乾坤泰卦帽はすべてが安泰となっている状態を表す。



衣装

服はチャイナドレスのように見えますが、実は違います。これは黒地の唐装と呼ばれる服です。

名前から唐代の服かと思うかもしれませんが、清代の馬掛という服装が変化して唐装になったので、唐代の服装というわけではありません。

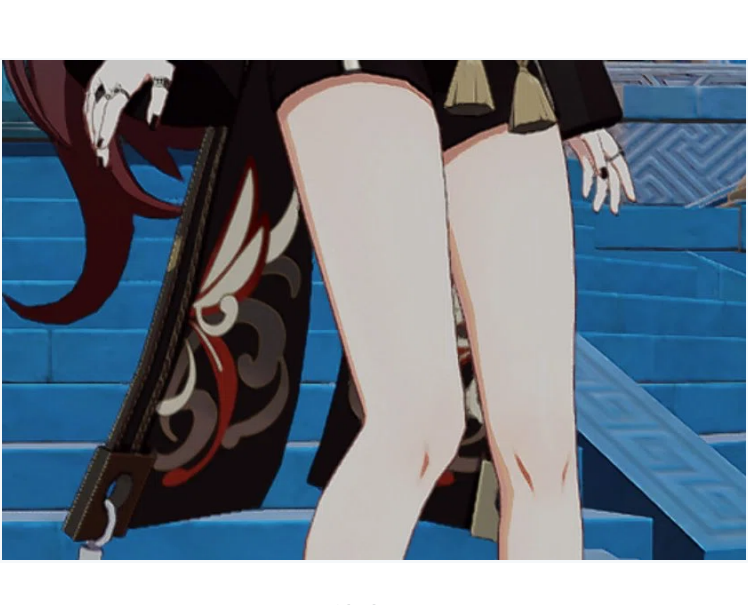
胡桃は右腕に赤い紐のブレスレットをつけています。

これは中国において魔除け（悪霊除け）の効果があると言われています。

余談ですが、胡桃のモチーフ武器である護摩の杖も、護摩と名付けられている通り、火を用いて厄災を払う儀式を表しています。実際に胡桃は厄災（霊も含む）を払う儀式をするような演出が何度かありました。

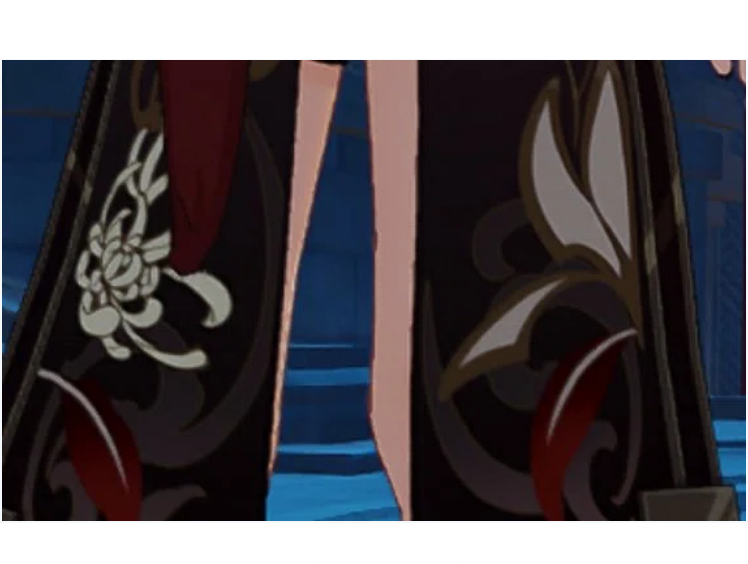
胡桃の帽子には紅い梅の花がついています。梅は中国では縁起の良い花とされ、幸福を意味します。

胡桃の服の裾には、



彼岸花

独特の彼岸花（裏地）と、



菊が左、百合が右

菊と百合らしき模様があります。

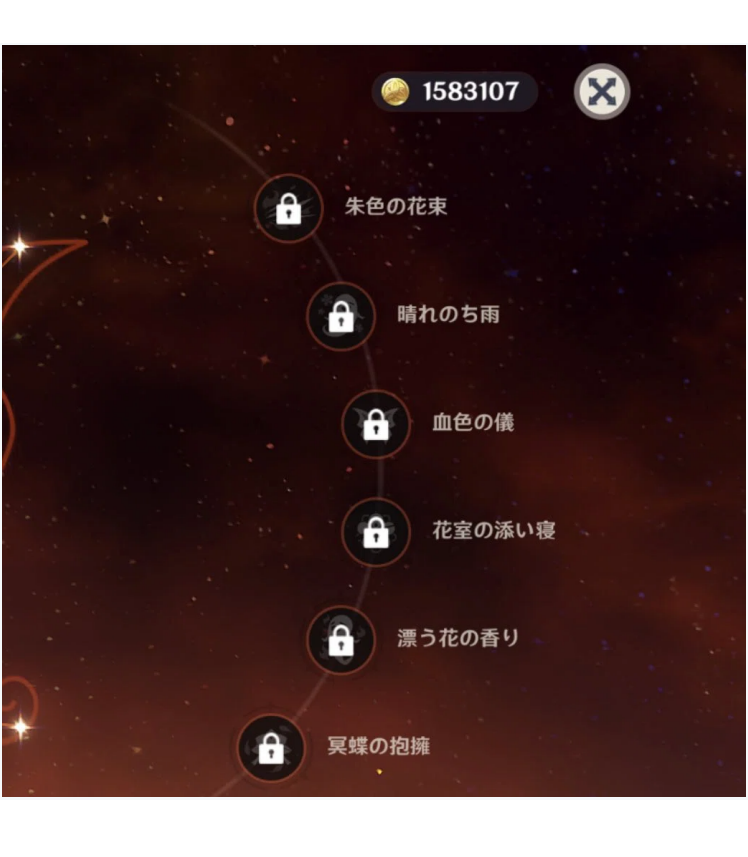
彼岸花は中国原産であり、胡桃にとって特に縁が深い花のようです（後で命の星座と絡めて話をします。）
生と死を表す天界の花とも言われます。

菊は中国において昔から愛された名花で、幸運や長寿を意味します。
また、日本でも追悼の意味を表し死者に菊を備えるように、中国でも追悼の意味を持った花です。
故人をあの世へ導く花とされているようです。

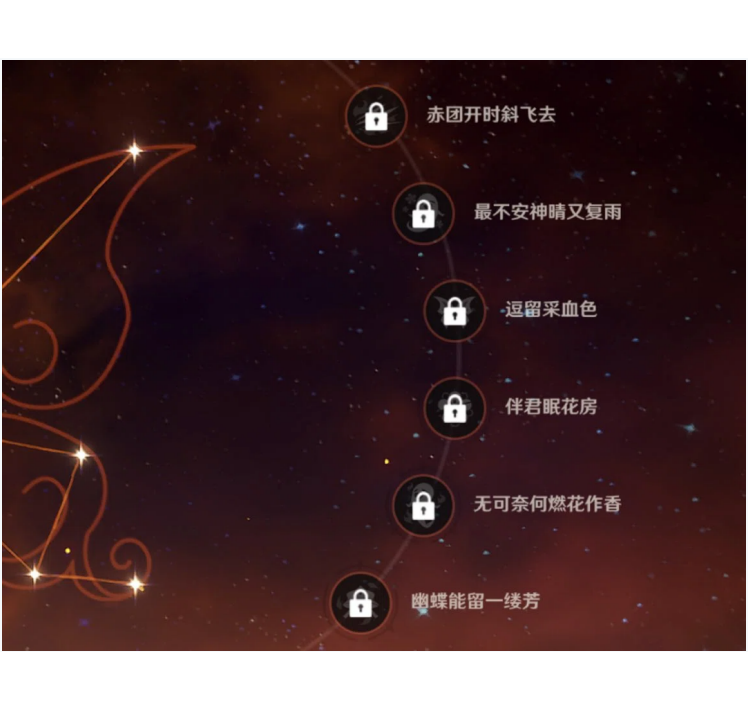
百合は国によっては死者への手向けの花とされていますが、百合が中国でどういった意味を持つのかはちょっと曖昧です。死者への手向けの花という意見もあるようですが、元々それは外来の意味であるという意見もあるようです。

胡桃は、胡桃、桃、梅、彼岸花、菊、百合のように、植物をかなり意識したキャラクターであることがわかります。

命の星座



日本語だと気がつきにくいですが、
胡桃の命の星座は一つの詩のような表現をされています。



赤团开时斜飞去（1凸）
最不安神晴又复雨（2凸）
逗留采血色（3凸）
伴君眠花房（4凸）
无可奈何燃花作香（5凸）
幽蝶能留一缕芳（６凸）

直訳するとかなり意味不明になるので、私がスーパー意訳しました。
私の解釈がかなり入っています↓

赤い花（彼岸花）の蕾が開くと蝶はひらひらと飛んでいく。（1凸）
最も不安なのは、晴れていても再び雨が降るということだ。（2凸）
血の色（花の蜜）を集めるために蝶は花に留まり、（3凸）
花の家で一緒に寝て、 （4凸）
花をお香として焚き、（5凸）
蝶は一筋の香りを残していくのだ。（6凸）

※補足→ 中国では彼岸花を赤团花と呼ぶことがあるので、1凸の赤团开は彼岸花の開花を意味すると解釈できる…と思います_(:3 」∠)_

さらに、この1凸から６凸までの流れは、人が死んだ時を表すようにも思います。（私の勝手な意見です。）

花とは死者のことで、死出の旅に向かう死者を名残り惜しみ、死者を見送る蝶（胡桃）の情景が思い浮かびました。

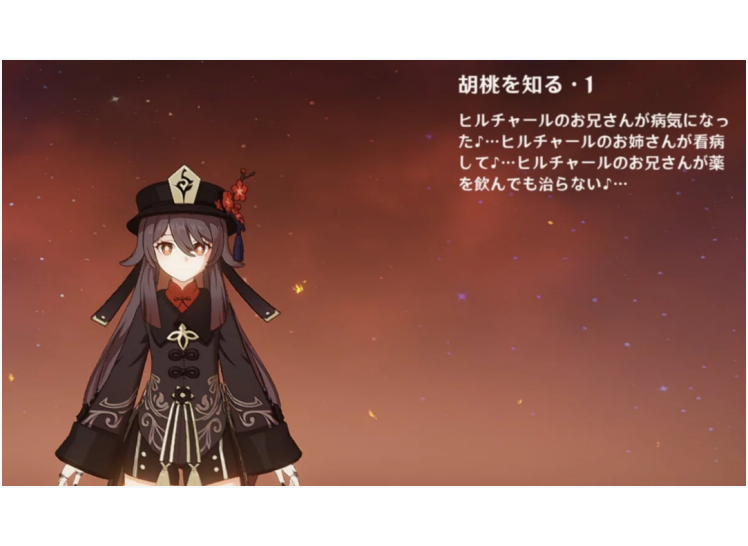
胡桃は、元々そういう死者を送る往生堂の人なので…。

命の星座も彼岸蝶座です。（死者を導く蝶。）

胡桃の天賦・蝶導来世
〈胡桃が学んだ秘伝の槍法、その教えの一句目は「槍よ切り開け黄泉の道、蝶よ引き寄せ来世の橋。」〉

余談・胡桃の歌

あくまで私が勝手に類似性を見つけた『説』ですが、胡桃がよく歌っている童謡は、魔神任務カリベルトにも似ています。



胡桃を知る・1
ヒルチャールのお兄さんが病気になった♪…ヒルチャールのお姉さんが看病して♪…ヒルチャールのお兄さんが薬を飲んでも治らない♪…

胡桃がよく歌っている「ヒルチャールのお兄さんが病気になった♪」は、
中国の兎の恐怖の童謡（十只兔子）だそうですが、
改めて中国語の歌詞を見てみます。

〈胡桃の童謡〉
ヒルチャールのお兄さんが病気になった♪…ヒルチャールのお姉さんが看病して♪…ヒルチャールのお兄さんが薬を飲んでも治らない。

〈元の童謡の歌詞を私なりに訳しました〉
大兔子病了,
長子の兎が病気になったら

二兔子瞧,
2番目の兎が看病をして、

三兔子买药,
3番目の兎が薬を買い、

四兔子熬,
4番目の兎が(薬を？)煎じて、

五兔子莫名死掉,
5番目の兎が原因不明の死をむかえ、

六兔子抬,
6番目の兎が運び、

七兔子闷着头挖坑,
7番目の兎が頭を傾かせて穴を掘り、

八兔子埋,
8番目の兎が(5番目兎の遺体を)埋める。

幽暗森林小小墓碑,
暗い森の中の小さな墓石は、

是兔子冰冷的尸骸,
冷たい兎の死骸だ。

悲鸣喊叫早已不在,
悲鳴や叫び声はとうの昔に消えてしまった。

太阳慢慢爬了出来,
太陽がゆっくりと昇ってきて、

九兔子在地上悲哀,
9番目のうさぎは地上で悲しんでいる。

十兔子问它为什么？
10番目の兎が悲しむ理由を尋ねました。

九兔子说,
9番目の兎はこう言います。

五兔子它一去不回来
5番目の兎は二度と帰ってこない。

高高地抬,
高々と持ち上げて、

深深地埋,
深々と埋めて、

别让五兔子再爬出来
5番目の兎が地を這い出てくるようなことはもうしないで。

〈解釈〉
長子の兎が病を患ったのに、亡くなったのが5番目の兎というのは、皮肉な話だと思います。年長ほど優先される。
そして5番目の兎が墓から這い出てくるというのは、復讐されるような酷いことをもうしないでという意味でしょうか。

ヒルチャールが呪われていて簡単になおすことが出来ないのはカリベルトで語られていました。

エデ
あの子の知性を取り戻す「薬」をな。
知性を取り戻す？

不死の呪いにかかっているコロタールは、
荒野の呪いにかかっているカリベルトをなんとか薬で治そうとしていましたが…。

ちなみに、魔神任務カリベルトの最後には、埋められた遺骨が出てきました。

何もかもが、残酷すぎるよ、パパ…

ダインスレイヴ
これは何を意味している？貴様はなぜ、この下に遺骨があると知っていた？
たぶん、この男性の遺骨は…
コロタール・アルベリヒだと思う。

コロタールはカリベルトに薬を飲ませようとしていましたが、亡くなったのはコロタールの方でした。
(呪いが解けたのはコロタールだった。カリベルトの呪いがどうなったかは明確には分からず。)

まるで兎の童謡に少しだけ似ていますね。

と、余談も入れましたが、胡桃の考察はなかなか楽しかったです。命の星座の詩的な部分が、日本語版で感じられなくなってしまったのが少しだけ残念です。

その分、今回の考察でみなさんにその良さが伝わっていたら嬉しいです。これからも胡桃が多くの方に愛されますように。

(この記事にいいねしていただけると次のモチーフ考察に繋がります。多分登録者以外の方も押せるのでぜひお願い致します🙏)

参考文献

・窪徳忠『道教の神々』講談社学術文庫、1996年。
・金谷治『易の話―『易経』と中国人の思考』講談社学術文庫、2003年。
・高田真治等（訳）『易経』岩波文庫、1969年

（上・下巻）。

・坂出祥伸『道教とはなにか』中公叢書、2005年。

・本田済『易学 成立と展開』講談社学術文庫、2021年。

・百度百科の「十只兔子」

https://baike.baidu.com/item/%E5%8D%81%E5%8F%AA%E5%85%94%E5%AD%90/2510745

Hanaの考察案内所
はコチラから

#考察 #原神 #胡桃 #genshin #げんしん

40 1

Hanaのnote

フォロー

原神考察が多めのnote。文化的背景のモチーフ考察などを少しずつ書きます。Xもやってます。キャラク…
もっとみる

人気記事

鍾離のモチーフ考察[原神]
97

帰らぬ熄星[原神]
90

キィニチのモチーフ考察[原神]
125

もっとみる

前の記事
ウェンティのモチーフ考察[原神]

次の記事
稲妻の歴史とジブリの繋がり[原神]

ピックアップされています

Hanaの原神考察

65本

コメント 1

◎NOA◎
2023年11月23日 11:47
私この原神っていうの全く知らなくて
Twitterで考察がおもしろくて
noteでも書かれてるのを知って
フォローさせてもらったんですが…
もっとみる

コメントする…

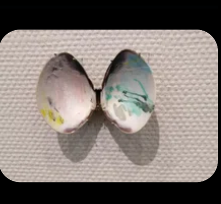
こちらもおすすめ

『謎の映像・CMチャンネル』考察【1】：ピーチとその起源についての考察
5 木

捜神記２１
TAKA9601KKKK

仕事中もついつい触りたくなっちゃう話
3 させぼゆる文化部の裏庭

胡蝶の夢　～仮想の分有～
和田 潤



lulu. IIIの星が胃の中にあるのはなぜか
15 choco

【三十一歩目】節分と道教。
1 老荘フリーク@九州

◎脇役列伝その５：林檎ちゃん（２－３）
4 かんちゃ

床×人形『西王母』
人形横町

【後世の暗号】桃栗三年柿八年…
2 市田泰弘

【大人が読む 桃太郎】昔話に隠された豆知識
45 【共感MAX占い師】不安…

「辞歳行」イベントPVに登場した漢籍の超ざっくり解説と翻訳
19 ochaaaaaaan

第703回「鬼滅の刃」の相関置換関係を解説してみた
9 みかん

随時更新【note_comです。読んでください。リンク先は安全。】神医華佗…
3 藤内穂高（ふじうちほだ…

「錦瑟」～ 李商隠
6 广碧山

No.23【桃】🍑の字に秘められた命の波🌈
3 字運Jiun🍚命詞也

なるほど！明日話したくなる！節分の豆まき。実は桃でもOKだった！？古…
3 kominextreme

西洋の林檎、東洋の桃
青北風

ホロライブメンバーのMBTI蔵干（サブタイプ）を推測
睡庵

【創作秘話】「リンゴ」が繋ぐ、命を巡る鎮魂歌について。
4 想兼 ヒロ

【伝記】鳳凰火・浄羽【百鬼異聞録】
塩アザラシ

中国の「蝙蝠」（ビェンフウ）の「蝠」は「福」と同音（フウ）なので・・・。
上方の語り部

中王区曲における神話的レトリック ― 東方天乙統女とアマテラス
2 リンドウ

仲正イチカとサマエル
アンドラス

221『桃太郎のお話、犬・猿はギリわかる。だがしかし雉とか普通ムリゲー…
ミテ缶は見てから考える

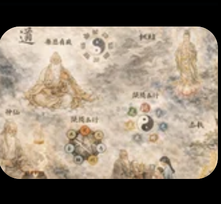
【読書記録】皇帝の薬膳妃　白銀の奇跡と明かされる真実
1 萌木れん

桃太郎の意外な真実
渡辺征弘

東方プロジェクトに関する考察
1 natty_oriole6944

c1503　人について
1 ぽん

【連載第5回・最終回】老子という人物と道教の世界について（テーマ：道…
3 Berlioz-Bismarck



私の知らない見えない世界⑥
3 猫餡

蝴蝶之夢
2 ニイガタソウゾウ/niigatas…

「ほの暮しの庭」重要そうなお化け/八つの掟の考察
3 いさな

これを見れば深空がもっと楽しくなる！？
10 めいめい

波邇布（はにふ）からの招待状③ - AIが見逃さなかった「どんでん返しの…
23 miio

【不思議なオブジェから赤べこへ】
4 はるじろう

縄文家屋は茅葺きか土屋根か
170 喜多野土竜

noteプレミアム　note pro　よくある質問・noteの使い方
プライバシー　クリエイターへのお問い合わせ
フィードバック　ご利用規約　通常ポイント利用特約
加盟店規約　資金決済法に基づく表示　特商法表記
投資情報の免責事項